

2016年2月23日(火曜日)14時～

首都大学東京南大沢キャンパス国際交流会館大会議室
(東京都八王子市南大沢1-1)

● 京王相模原線南大沢駅下車徒歩13分

「スペインにおける複数のナショナリズム」

(逐次通訳付)

2016年3月1日(火曜日)18時～

セルバンテス文化センター東京

(東京都千代田区六番町2-9)

● 東京メトロ有楽町線麹町駅下車徒歩3分

JR・地下鉄各線市ヶ谷駅下車徒歩6分

JR・地下鉄各線四ツ谷駅下車徒歩7分

「スペインにおける立憲君主制」

(同時通訳付)

2016年3月4日(金曜日)14時～

首都大学東京秋葉原サテライトキャンパスC・D会議室

(東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル12階)

● JR・地下鉄・私鉄各線秋葉原駅下車徒歩1～5分

東京メトロ日比谷線末広町駅下車徒歩5分

「スペインにおける政治的恩顧関係」

(逐次通訳付)



ハビエル・ モレノ・ ルソン教授 来日講演会

ハビエル・モレノ・ルソン

Javier Moreno Luzón

マドリッド・コンプルテンセ大学社会政治思想運動論正教授(カドラティコ)。王政復古期(1875-1923)のスペイン政治の専門家として多数の論文を発表。近年の業績に、編著(ペドロ・タバレス・デ・アルメイダとの共編)『投票から議場までイベリア半島の議会政治(1875-1926)』(Madrid, Marcial Pons Historia, 2015)がある。現在スペイン・ポルトガル歴史研究学会執行委員、オルテガ・イ・ガセー大学院現代史セミナー代表も務める。エル・パイス紙の常連寄稿者。